

平成29年度広島県高等学校新人バドミントン大会  
兼 第46回全国高等学校選抜バドミントン大会広島県予選会 要項

- 主 催 広島県高等学校体育連盟・広島県教育委員会  
主 管 広島県高等学校体育連盟バドミントン競技専門部
1. 期 日 学校対抗戦 平成29年11月4日(土)・5日(日)  
個人対抗戦 平成29年11月11日(土)・12日(日)
2. 会 場 学校対抗戦 男女とも びんご運動公園体育館 尾道市栗原町997  
個人対抗戦 男子 市立福山高等学校 福山市赤坂町赤坂910番地  
女子 大門高等学校 福山市幕山台3-1-1
3. 種 目 学校対抗戦 および 個人対抗戦 男女各単複
4. 競技規程 平成29年度(公財)日本バドミントン協会競技規則および審判員規程に従って行う。
5. 参加資格 (1) 選手は広島県高等学校体育連盟規約第5条に規定する学校に所属する生徒で、本競技実施要項により大会の参加資格を得た者に限る。  
(2) 年齢は平成11(1998)年4月2日以降に生まれた者とする。ただし出場は同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。  
(3) 監督・コーチ・選手・マネージャーは、平成28年度(公財)日本バドミントン協会に会員登録を完了した者とする。  
(4) チームの編成について、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。  
(5) 転校後6ヶ月未満の者は、参加を認めない。(外国人留学生もこれに準じる)ただし、一家転住などやむを得ない場合は、県高体連会長の許可があればこの限りではない。  
(6) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会の参加を認める。  
(7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。  
(8) 参加資格の特例による参加については、広島県高等学校総合体育大会開催基準要項の通りとする。
6. 参加制限 (1) 学校対抗戦は各校男女各1チーム、監督1名・コーチ1名・選手5~7名、マネージャー1名以内とする。ただし、マネージャーは選手を兼ねられない。  
(2) 外国人留学生の選手は2名以内とし、1対抗戦の出場は、その人数(1名または2名)にかかわらず1試合とする。  
(3) 個人対抗戦については各地区で選ばれた者とし、各地区の割り当ては次の通りとする。
- |    |       |       |        |        |      |
|----|-------|-------|--------|--------|------|
|    | 呉     | 尾 三   | 広 島    | 福 山    | 三 次  |
| 男子 | 6複10単 | 6複10単 | 32複40単 | 16複24単 | 2複4単 |
| 女子 | 6複10単 | 6複10単 | 32複40単 | 16複24単 | 2複4単 |
7. 使用 シャトル 平成29年度(公財)日本バドミントン協会第一種検定合格球を使用する。シャトルは、学校対抗戦では3個/1校、個人対抗戦では、単は1個/1人、複は1個/1組を各校持ち寄りとし、受付時に本部に提出する。なお、学校対抗戦1試合につき5個、個人対抗戦1試合につき2個を本部で用意するが、それ以上は双方の持ち寄りとする。
8. 試合方法 (1) トーナメント方式による。学校対抗戦のみ3位決定戦を行う。(個人対抗戦は行わない)  
(2) 学校対抗戦は2複3単とし、1複-2複-1単-2単-3単の順で行い、3マッチ先取したチームの勝ちとする。ただし、単複は兼ねられるが、1単のみ他と兼ねることはできない。
9. 日 程 学校対抗戦 第1日の試合数は、監督会議で決定する。  
個人対抗戦 第1日 ダブルスより始め、途中からシングルスも行う。  
第2日 残り試合全部  
開始時刻は学校対抗戦・個人対抗戦ともに監督会議で決定する。
10. 参加申込 学校対抗戦については、所定の用紙に必要事項を記入し、各学校単位で申し込む。  
個人対抗戦については、各地区委員長が所定の一覧表にて一括して申し込む。  
(1) 申 込 先 〒729-0417 三原市本郷南5丁目25番1号 TEL 0848-86-4314  
広島県立総合技術高等学校 花岡 理 宛  
(2) 申込期限 平成29年10月11日(水) 必着
11. 組み合わせ 監督会議において決定する。
12. 監督会議 (1) 日 時 平成29年10月20日(金) 13:30~  
(2) 場 所 びんご運動公園 陸上競技場 会議室(尾道市栗原町997 TEL 0848-48-5446)
13. そ の 他 (1) 選手は背面に学校・姓を黒または紺色で明記すること。  
(2) 会場の使用規定を遵守すること。  
特に、開場時刻までは建物内に立ち入らないこと。  
(3) 本大会の学校対抗戦の1位、および個人対抗戦単複のベスト4までが中国大会へ出場できる。  
(4) 前年度優勝校は、優勝旗・楯を返還すること。  
(5) 審判は敗者主審制です。1日目の最後に敗者になった場合には、2日目に主審があります。

